



VOLUME

08

2015年
12月1日発行

迎春



申のようにすばやく柔軟に対応します。(*^。^*) 地域医療連携センタースタッフ一同

連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院

JCHO Japan Community Health care Organization



新年のごあいさつ

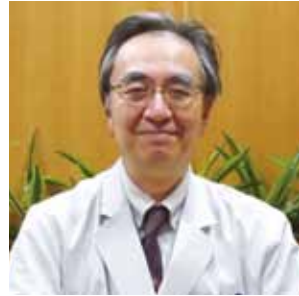


新年のごあいさつ



独立行政法人地域医療機能推進機構
群馬中央病院

院長 田代 雅彦



新年あけましておめでとうございます。

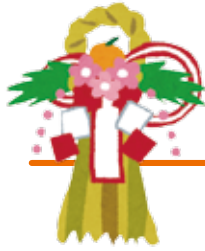
地域医療機能推進機構（JCHO）として2年目が過ぎようとしています。昨年は、本来の機構の目的である地域医療・地域包括ケアに対する取り組みが増えてきた一年と思っています。地域医療連携室を中心とした取り組みです。地域連携カンファレンスには毎回多数の参加をいただきましてありがとうございます。地域包括ケア研究会、認知症研修会も行っています。市民健康医学講座は2回。また感染管理の部門も地域との連携を充実させてきました。近隣の8病院との連携や、感染をテーマにした地域連携学術講演会も行いました。定着している栄養療法ネットワークも10回をこえて行っています。老健も変わりつつあります。従来の在宅復帰はもちろんですが、「看取り」を行うなど幅を広げ、利用者さんのニーズにこたえるよう努力しています。少しずつですが、効果が出てきているように思っています。

当院はまずは顔が見える連携をめざしてきましたが、そろそろ次の段階に入ってもいいのではと思っています。大きな努力の上で、相互の連携が成り立つのではなく、当たり前のように自然に連携が取れている、そんな連携をめざしてもよいかと思っています。医療・介護の環境も大きく変わってきてはいますが、いずれにしても地域連携は重要になってきていると思っています。

昨年暮れに病院機能評価を受審しました。まだ結果はわかりませんが、内部の目では気が付かないことがたくさん出てきています。病院がきれいになるだけでなく、職員の医療に対する姿勢、考え方が変わることが重要と思っています。これも時代の要請でしょう。そして、患者目線の重要さを再確認したこと、また自分たちは、思っているより、しっかりとできていることも確認できたこともよかったと思っています。

ところで、一番大切なのは診療で、これも大きな変化こそありませんが、それでも少しずつ時代と地域の要求に沿っていきたくと思っています。

ことしも変化の多い一年になりそうですが、職員一同がんばっていきたくと思っています。ご指導、ご協力よろしくお願ひいたします。



地域医療連携と地域包括ケア病棟

副院長兼地域医療連携センター長

内藤 浩



あけましておめでとうございます。

新年にあたり、ご挨拶をさせていただきます。

本年は、診療報酬改定の年にあたります。どのような改定になるか、まだ今の段階では確定的な情報は出ておりませんが、一つ言えることは、地域連携がますます重要視されるということです。

いわゆる2025年問題に向かい厚生労働省は、「地域包括ケアシステム」の構築を求めています。できるだけ在宅で過ごせる環境をつくりなさい、ということで、逆に言えば、病院にいる期間をますます短くするよう求めてくるでしょう。

その状況のなかで現在の医療水準を維持するためには、より機能的でスムーズな地域連携の構築が不可欠です。病院と地域の医療機関、介護・福祉施設、そして行政が緊密に連携して、患者さんやご家族が悲しい思いをしなくて済むようにしなくてはなりません。

そのために必要なことは、まずいままで以上に「顔の見える連携」をすすめることです。昨年も「地域連携カンファレンス」や「地域包括ケア研究会」、「認知症研修会」など、さまざまな企画を実行いたしました。今年も患者さんにかかわるいろいろな立場の方たちとの交流、連携を図っていききたいと思ひ、また、その機会・場所を提供していきたいと考えています。

地域連携の構築に向け、今年当院が計画しているのが、「地域包括ケア病棟」です。4月に稼働を始める予定で、60床の病棟です。急性期医療が終わった患者さんが在宅に帰るまでのあいだ、少しゆっくり療養できる機能を持たせます。この病棟を有効に使うことによって、在宅に向けた準備、例えば、介護保険の申請や、退院後の医療・福祉施設との情報共有などがスムーズに行えると思ひます。

次の次、2018年の診療報酬改定では、医療・介護の機能分化・再編が強く求められると予想されます。前橋医療圏には、きわめて多くの医療、介護、福祉施設があります。これらの施設が、あたかも一つの組織のように機能する、そして、そこに行政が寄り添う、そんな地域連携ができればいいな、と、申年の初めに夢見しております。

今年もよろしくお願ひいたします。

外来診療担当医一覧表

平成27年12月1日現在

科	曜	月	火	水	木	金
内科	午前	齋藤(総合) 北原 羽鳥 須賀	奥(総合) 羽鳥 阿久澤 大山	今井(総合) 北原 田嶋 長谷川	北原(総合) 今井 須賀 田嶋(糖尿病)	佐藤(総合) 阿久澤 奥 大山
	午後 (予約)	今井(循環器) 田嶋(糖尿病) 山口(呼吸器)	北原(循環器) 須賀(循環器) 蜂須(呼吸器) 土岐(糖尿病)	今井(糖尿病)	大山(循環器) 阿久澤(循環器) 奥(循環器) 解良(呼吸器)	北原(循環器) 羽鳥(循環器) 田嶋(糖尿病) 解良(呼吸器)
和漢診療科	午前	小暮 山本	小暮 原田	小暮	小暮 山本	小暮
	午後	小暮	—	小暮(リウマチ)	小暮	—
神経内科	午前	大沢	—	—	—	大沢
	午後	金子	大沢	—	平柳	—
消化器内科	午前	《肝臓》湯浅(第2・4週) 堀内(第1・3・5週)	岸	堀内	山田(大腸)	湯浅
小児科	午前	田代 [予]須永(神経発達)	須永	田代 水野 [予]須永・村松(神経発達)	田代 須永 [予]水野(アレルギー)	須永 [予]水野(アレルギー) [予]鈴木(神経発達)
	午後 (予約)	須永(神経発達) 水野(アレルギー) 武井(専門)	須永(神経発達) 小笠原(専門) 内田(乳児健診) 群大(乳児健診)	田代(循環器) 須永(神経発達) 高木(腎臓) 和田(予防注射) 月田(予防注射)	田代(循環器)1・2・4・5週 篠原(循環器3週) 小笠原(腎臓) 内田(専門)	須永(神経発達) 水野(アレルギー) 武井(腎臓) 牧岡(神経発達)
外科	午前	内藤 深澤 佐野 矢島(乳腺・甲状腺)	調(肝・胆・脾) 【紹介のみ】 谷 佐野 桐山(ESD内視鏡治療)	斎藤 山内 小峯	内藤 深澤 山内 福地	谷 斎藤 小峯 桐山(ESD内視鏡治療)
	午後	藤井(乳腺・甲状腺) 【紹介のみ】	—	—	茂木(呼吸器)	—
整形外科	午前	寺内(膝) 堤(脊椎) 中川(脊椎) 中島(脊椎) 【紹介のみ】	寺内(膝) 堤(脊椎) 畑山(膝) 大島	中川(脊椎) 畑山(膝) 大島	堤(脊椎) 中川(脊椎) 中島(脊椎)	寺内(膝) 畑山(膝) 中島(脊椎) 大島 【紹介のみ】
	※膝・脊椎の記載について…整形外科は一般外来として診療を行っておりますが、紹介患者さまについては殆どの方が専門的治療が必要な状態と考えられます。混乱を避けるために専門分野の記載をしております。					
産婦人科	午前	伊藤 勝俣(妊婦健診) 金井	伊藤(8:30~10:00) 勝俣 安部(妊婦健診)	伊藤(妊婦健診) 太田 平石	伊藤(不妊不育) 太田(妊婦健診) 平石	伊藤 安部 平石(妊婦健診)
	午後 (予約)	太田(手術後・検査) 平石(一般外来)	金井(一般外来) 手術	勝俣(産後外来) 安部(一般外来)	伊藤(手術組) 篠崎(ハイリスク) 検査	太田(手術後・検査) 勝俣(妊婦健診)
眼科	午前	前嶋	前嶋 花田	前嶋 花田	前嶋	前嶋
耳鼻咽喉科	午前	内山 群大	内山	内山	内山 【紹介のみ】	内山
	午後	[予]内山	[予]内山(嚥下外来) [予]竹越	[予]内山 [予]塚田(隔週)	—	[予]内山(嚥下外来)
麻酔科	午前	大川	高橋	富岡	原	大川
皮膚科	午前	—	田村	—	—	—
	午後	—	—	—	—	群大
泌尿器科	午前	—	—	鈴木(第2・4週)	—	—
	午後	—	—	—	—	—
歯科	午前	平林	平林	平林	平林	平林
	午後	—	—	—	—	—

※神経内科の午前午後および内科・小児科・産婦人科・耳鼻咽喉科の午後は予約制です。 ※耳鼻咽喉科の木曜日午前中の初診受付については、紹介状持参患者のみの外来となっております。
※整形外科の月・金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみの外来となっております。 ※外科の月曜日の午後(乳腺・甲状腺)は紹介状持参患者のみの外来となっております。

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間
8:30~18:00

TEL 027-223-1373 [直通]

FAX 027-223-1374 [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構



群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415

